

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.4</b>	0.15	-	-	3.4
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	-	-	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>4.2</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		遮音等級T-2以上を採用		5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	-	-	2.0
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				3.0	0.25	-	-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>1.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	-	-	2.6
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>1.8</b>	0.30	-	-	
1 昼光率				1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				3.0	1.00	-	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.7</b>	0.25	-	-	3.7
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F 建材をほぼ全面に採用		4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>2.3</b>	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				1.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	3.4
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	3.0
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>2.3</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高3.2m、外壁面に窓設置		5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		全館禁煙、リフレッシュスペース確保(コティリティ室)、給茶器の設置		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		トイレの壁・床に防汚性建材を採用、床対策に巾木を計画、維持管理の異なる床材の使用無し、タップにはメッキ処理、段差のない設計		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.2</b>	0.31	-	-	3.2
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.5</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		ガルバリウム鋼板		5.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		衛生・給水VLP、汚水排水及び雑排水:VP、Eは不使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	光・マルチケーブル等通信の多様化、精密機器を地上階に設置	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			4.3	0.29			4.3
3.1 空間のゆとり			4.4	0.31			
1	階高のゆとり	階高3.7m以上、3.9m未満	4.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	1階で壁長さ比率=0.08	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		工・事)4500N/㎡以上	5.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性	工)EPS、天井内転シ・露出配線、事)ケーブルラック・天井内転シ配線・天井点検口の採用	5.0	0.11			
4	通信配線の更新性	工)EPS、ケーブルラック、事)天井内転シ配線・天井点検口の採用	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース	敷地内にバックアップ設備の為のスペースを確保	4.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39			1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制			2.7	0.03			2.7
2 自然エネルギー利用			3.0	0.28			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		LED照明、Hf蛍光灯等の採用、ERR=42.9%	5.0	0.42			5.0
集合住宅以外の評価( ERRによる評価)		ERR=42.9%	5.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.28			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.4
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型便器、擬音装置、自動洗浄型便器等を積極的に採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63			3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイルカーペット(業務課・総務課他)	3.0	0.21			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+LGS+PBにより躯体と仕上材の分別が容易、配管・配線が躯体及び仕上材自体に打込まれていない、各々容易に取外せる	5.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材を使用していない	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:83%	3.6	0.33			3.6
2 地域環境への配慮			3.3	0.33			3.3
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質は発生しない	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		2.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			